

CASIO®

P

5208 * JA

取扱説明書

5208

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
くださいますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に
記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

■ 本機の特長

- 太陽電池で充電するソーラーパワー
- LED ライト
- ワールドタイム
- アラーム・時報
- タイマー
- ストップウォッチ

ご使用前に十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくために、本書に従って、光が当たるようにして
お使いください。

(充電時間については、10 ページの「電源について」をご参照ください)

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



○記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手が届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

目次

| | | | |
|--------------------------|-------------|------------------------------------|-----------|
| 安全上のご注意 | 表紙裏面 | アラーム・時報の使い方 | 21 |
| 液晶表示について | 5 | アラームについて | 21 |
| 十分に光を当ててご使用ください | 6 | アラームのセット | 21 |
| 操作のしくみと表示の見方 | 8 | アラーム・時報の ON/OFF 設定 | 23 |
| 電源について | 10 | 鳴っている電子音を止めるには | 23 |
| パワーセービング機能について | 14 | タイマーの使い方 | 24 |
| ライト点灯について | 15 | タイマーのセット | 24 |
| ボタンを押して点灯させる | 15 | タイマーの使い方 (減算計測のしかた) | 26 |
| ライト点灯時間の切替え | 15 | 鳴っている電子音を止めるには | 26 |
| ワールドタイムの使い方 | 17 | ストップウォッチの使い方 | 27 |
| 都市のサーチ | 17 | 計測のしかた | 27 |
| サマータイム (DST) について | 18 | ホームタイムデータ (時刻・日付) の合わせ方 | 29 |
| サマータイムの ON/OFF 設定 | 18 | セットのしかた | 29 |
| ホームタイムとワールドタイムの入替え | 19 | 針の基準位置合わせ | 34 |
| 都市コード一覧 | 20 | | |

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。

- 液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

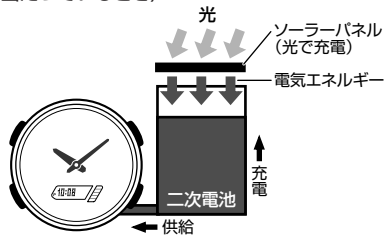


| | |
|-----------------------|----|
| 製品仕様..... | 36 |
| ご使用上の注意..... | 38 |
| お手入れについて..... | 41 |
| 本製品で使用している電池について..... | 42 |
| 金属バンドの駒詰めについて..... | 42 |

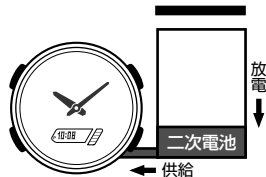
十分に光を当ててご使用ください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくためには、本機のソーラーパネルに光が当たるようにしてお使いください。

● **光が当たっているときと当たっていないとき**
〈光が当たっているとき〉

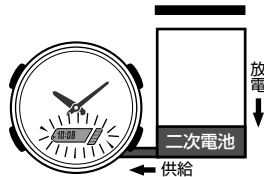


〈光が当たっていないとき〉



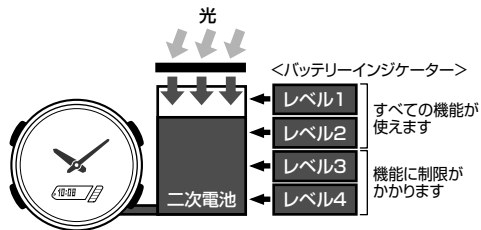
時計は光が当たっていないときでも常に動いていますので、このままでは二次電池の容量が減って機能が使えなくなります。

● **ライト (表示用照明) をたくさん使うと**
ライトを多用すると二次電池の容量は早く減ります。

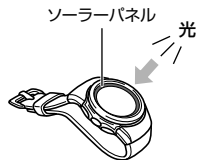


●時計に光が当たるようにしましょう

- 電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル 3 になると機能に制限がかかりますので、レベル 1、レベル 2 を保つように光を当ててください。

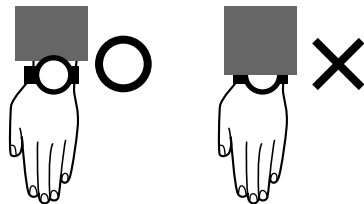


- 腕から外したときは表示面（ソーラーパネル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。



蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

- 腕に付けているときはなるべく袖が表示面（ソーラーパネル）にかからないように使用してください。



一部でも袖に隠れていると、充電効率が著しく低下します。

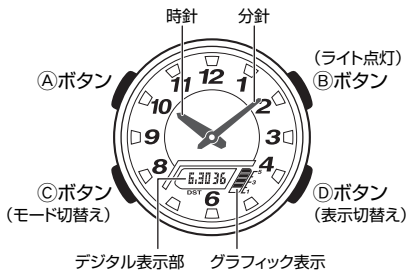
操作のしくみと表示の見方

※ 本書の表示例では、一部を除き、アナログ（針）部を省略しております。

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

※ バッテリーモード、アラームモードのまま2～3分間すると、自動的に時刻モードに戻ります。

時刻モード



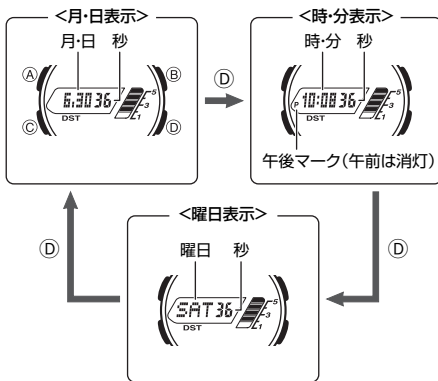
・グラフィック表示が秒に合わせて点灯／消灯します。

★曜日表示について

下記の各言語から選ぶことができます(32ページ)。
英語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語

★表示切替えについて

◎ ボタンを押すごとに、デジタル部の表示が切り替わります。



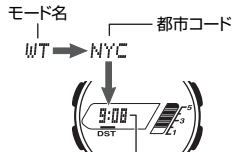
バッテリーモード



レベル表示

P-10

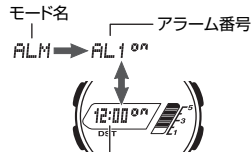
ワールドタイムモード



ワールドタイム

P-17

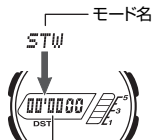
アラームモード



アラーム時刻

P-21

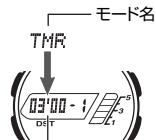
ストップウォッチモード



計測値

P-27

タイマーモード



タイマー時間

P-24

電源について

本機はソーラーパネルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。

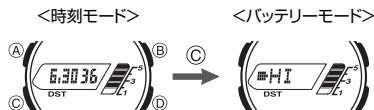
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。

安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。




● 電池残量の確認

二次電池の残量を確認するには、バッテリーモードに切り替えます。

※ バッテリーモードに切り替えるには、時刻モードのときに © ボタンを 1 回押します。



例：月日表示

| | | |
|-------|---|--|
| レベル 1 |  | すべての機能が使用可能 |
| レベル 2 |  | すべての機能が使用可能 |
| レベル 3 |  | キー操作不可、ライト点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可 |
| レベル 4 |  | 時針・分針ともに 12 時位置で停止、液晶表示不可、ライト点灯不可、アラーム・時報などの報音不可、タイマーのタイムアップ報音不可 |
| レベル 5 |  | 時計機能停止（時計発振不可） |

※ レベル 3 のとき、時刻モードで上記を表示します。

※ 直射日光下などの強い光で充電した場合、二次電池の残量が一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※ レベル 5 になっても再度充電を行うことで使用できます。

※ レベル 5 から充電したときは、レベル 2 になると表示が点灯します。レベル 2 またはレベル 1 になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。

●充電必要サインについて

レベル3や4の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行ってください。

●リカバーマークが点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、リカバーマークが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- 運針
- ライトの点灯
- アラーム・時報などの報音
- タイマーのタイムアップ報音



このような場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

●充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
 - 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
 - 直射日光が長く当たって、高温になる所
- なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

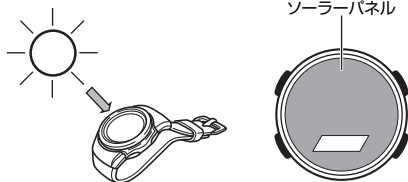


充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーパネル部を光源に向けます。

※ ソーラーパネルの一部が隠れていると充電効率が下がりますのでご注意ください。



※ イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

● 1日、安定した状態で時計を使用するために必要な充電時間

※ 下記の条件で使用した場合

- ライト：1.5 秒間／日
- アラーム報音：10 秒間／日
- 表示点灯：18 時間／日

※ こまめに充電を行えば、安定した状態でご使用いただけます。

| 環境（照度） | 充電時間 |
|--------------------------|--------|
| 晴れた日の屋外など (50,000ルクス) | 約 8 分 |
| 晴れた日の窓際など (10,000ルクス) | 約 30 分 |
| 曇り日の窓際など (5,000ルクス) | 約 48 分 |
| 蛍光灯下の室内など (500ルクス) | 約 8 時間 |

● 各レベルに回復するための充電時間

| 環境（照度） | 充電時間 | | | | |
|--------------------------|----------|-------|----------|---------|-------|
| | レベル 5 | レベル 4 | レベル 3 | レベル 2 | レベル 1 |
| 晴れた日の屋外など (50,000ルクス) | 約 3 時間 | | 約 35 時間 | 約 10 時間 | |
| 晴れた日の窓際など (10,000ルクス) | 約 10 時間 | | 約 133 時間 | 約 36 時間 | |
| 曇り日の窓際など (5,000ルクス) | 約 16 時間 | | 約 216 時間 | 約 58 時間 | |
| 蛍光灯下の室内など (500ルクス) | 約 194 時間 | | ---- | ---- | |

※ この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に針の運針を停止し、液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。

※ 時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

●表示スリープ

午後 10 時～午前 6 時の間、暗いところで本機を約 1 時間放置します。

⇒液晶表示が消えます。

アラーム・時報の報音は行います。
アナログ針は運針を継続します。

※ タイマーモード、ストップウォッチモードのときは、スリープ状態になりません。



●機能スリープ

表示スリープのまま暗いところで 6～7 日間経過します。

⇒アラーム・時報の報音は行いません。アナログ針は 12 時の位置で運針を停止します。

※ 時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

本機を明るいところに置か、いずれかのボタンを押します。

※ 本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大 2 秒かかる場合があります。

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。

■ ボタンを押して点灯させる

～手動点灯～

セット中（表示点滅）以外、どのモードのときでも、

Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

※ 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます（次項参照）。



〈ライト点灯についてのご注意〉

- 直射日光下では点灯が見えにくくなります。
- 点灯中にアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

■ ライト点灯時間の切替え

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続け、“ADJ” と表示されたら指を離します

⇒ 都市コードが点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. 「ライトの点灯時間」を設定する

Ⓒ ボタンを 10 回押します

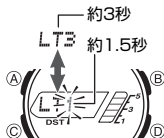
⇒ “LT1”（1 は点滅）または “LT3”（3 は点滅）が表示されます。



3. 点灯時間を切り替える

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとにライトの点灯時間が切り替わります。



4. セットを終わる

① ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界 48 都市 (31 タイムゾーン) の時刻を簡単に知ることができます。

- ※ ワールドタイムは、基本時刻との時差にしたい他の都市の時刻が自動的にセットされます。
- ※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
- ※ ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

■ ご注意 ■

ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの現在時刻およびホーム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* セットについては 29 ページ参照。

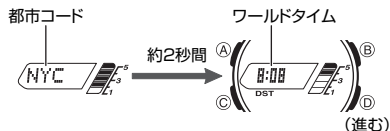
8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたい
◎ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

◎ ボタンを押します

- ➡ ◎ ボタンを押すと、現在設定されている都市コードを約 2 秒間表示し、続いてその都市の時刻を表示します。
- ※ 都市コードを表示中に ◎ ボタンを押すと、都市コードが進みます。
- ※ 押し続けると早送りします。



■ サマータイム (DST) について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムのON/OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、**ⓐ** ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

(約2秒間)



DSTマーク

⇒ **Ⓐ** ボタンを約 2 秒間押し続けるごとにサマータイムの ON/OFF が切り替わります。

※ サマータイムが ON のときは、DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

■ ホームタイムとワールドタイムの入替え

ホームタイムとワールドタイムを入れ替えることができます。

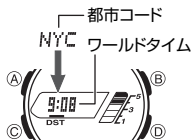
例：ホームタイム (TYO) とワールドタイム (NYC) を入れ替える。

| | ホームタイム | ワールドタイム |
|-----|---|---|
| 操作前 | 東京 (TYO) 午後 10 時 08 分 (スタンダードタイム) | ニューヨーク (NYC) 午前 9 時 08 分 (サマータイム) |
| 操作後 | ニューヨーク (NYC) 午前 9 時 08 分 (サマータイム) | 東京 (TYO) 午後 10 時 08 分 (スタンダードタイム) |

1. 都市を選ぶ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます



2. ホーム都市を入れ替える

Ⓐ ボタンと Ⓑ ボタンを確認音が鳴るまで同時に押し続けます

→ 1. で選んだ都市 (ニューヨーク) がホーム都市になります。

※ 操作を行う前のホーム都市 (東京) がワールドタイムモードの選択都市になり、ワールドタイムモードの時刻が修正されます。



■ ご注意 ■

日本でお使いの場合は、必ずホーム都市を「TYO」に設定してください。

■ 都市コード一覧

| コード | 時差 | 都市名 | コード | 時差 | 都市名 |
|-----|--------|---------|-----|-------|------------|
| UTC | 0 | <協定世界時> | TPE | + 8 | 台北 |
| LIS | | リスボン | SEL | + 9 | ソウル |
| LON | | ロンドン | TYO | | 東京 |
| MAD | + 1 | マドリード | ADL | + 9.5 | アデレード |
| PAR | | パリ | GUM | + 10 | グアム |
| ROM | | ローマ | SYD | | シドニー |
| BER | | ベルリン | NOU | + 11 | ヌーメア |
| STO | | ストックホルム | WLG | + 12 | ウェリントン |
| ATH | | + 2 | アテネ | PPG | - 11 |
| CAI | カイロ | | HNL | - 10 | ホノルル |
| JRS | エルサレム | | ANC | - 9 | アンカレジ |
| MOW | + 3 | モスクワ | YVR | - 8 | バンクーバー |
| JED | | ジェッダ | LAX | | ロサンゼルス |
| THR | + 3.5 | テヘラン | YEA | - 7 | エドモントン |
| DXB | + 4 | ドバイ | DEN | | デンバー |
| KBL | + 4.5 | カブール | MEX | - 6 | メキシコシティ |
| KHI | + 5 | カラチ | CHI | | シカゴ |
| DEL | + 5.5 | デリー | NYC | - 5 | ニューヨーク |
| KTM | + 5.75 | カトマンズ | SCL | - 4 | サンティアゴ |
| DAC | + 6 | ダッカ | YHZ | | ハリファックス |
| RGN | + 6.5 | ヤンゴン | YYT | - 3.5 | セントジョンズ |
| BKK | + 7 | バンコク | RIO | - 3 | リオデジャネイロ |
| SIN | + 8 | シンガポール | FEN | - 2 | フェルナンドデノニャ |
| HKG | | 香港 | RAI | - 1 | プライア |
| BJS | | 北京 | | | |

※ この表は 2010 年 12 月現在作成のものです。

※ この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

※ 各国の時差やサマータイムは、その国の都合により変更になることがあります。

アラーム・時報の使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがひ
◎ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL5)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

● 時報 (SIG)

毎正時 (00 分) に時報を鳴らすこともできます。

■ アラームのセット

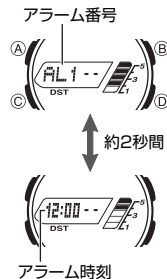
1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラーム番号を選びます。

※ アラームモードに切り替えた直後は、前回このモードで最後に表示していたアラーム番号を表示します。



2. セット状態にする

① ボタンを約2秒間押し続けます

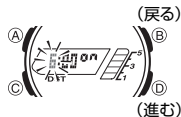


⇒「時」が点滅します。

※セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

3. 「時」をセットする

② または ③ ボタンを押します



⇒ ④ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、③ ボタンを押すごとに戻ります。

※それぞれ押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき午前(A) / 午後(P) または24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

4. 「分」をセットする

④ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に ④ または ③ ボタンでセットします。



5. セットを終わる

⑤ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

■ アラーム・時報の ON/OFF 設定

1. ON/OFF を設定するアラーム番号または時報を選ぶアラームモードのとき、

① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとにアラーム番号、時報が切り替わります。

2. ON/OFF を設定する

② ボタンを押します

⇒ ② ボタンを押すごとに時報の ON/OFF が切り替わります。

例：アラーム1 (AL1)



■ 鳴っている電子音を止めるには
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

タイマーの使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは二つのタイマーで構成されており、計測時間をそれぞれセットします。二つのタイマーは交互に計測され、あらかじめセットした回数だけ計測して終了します。タイマーは二つとも5秒単位で99分55秒まで、計測回数は10回までセットできます。タイマーは二つとも、セットした時間が経過すると確認のため短い電子音が鳴ります。また、すべてが終了すると5秒間の電子音が鳴ります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモード（リセット状態）のとき、

◎ ボタンを約2秒間
押し続けます

(約2秒間)

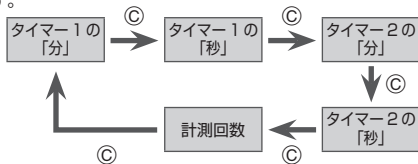


→タイマー1の「分」が
点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

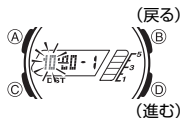
◎ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動し、設定できます。

◎ ボタンを押すとリセット状態に戻り、計測を始められます。



2. タイマー1の「分」をセットする

◎ または ◎ ボタンを押し
ます



→◎ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、◎ ボタンを押すごとに戻ります。

※ それぞれ押し続けると早送りします。

※ タイマー1を使用しないときは「00'00」とセットしてください。

3. タイマー1の「秒」をセットする

◎ ボタンを押します

⇒「秒」が点滅します。

※「秒」も「分」と同様に④または⑤ボタンでセットします。「秒」は5秒単位でセットできます。



5. タイマー2の「秒」をセットする

◎ ボタンを押します

⇒「秒」が点滅します。

※「秒」も「分」と同様に④または⑤ボタンでセットします。「秒」は5秒単位でセットできます。



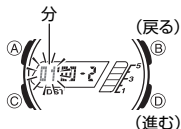
4. タイマー2の「分」をセットする

◎ ボタンを押します

⇒「分」が点滅します。

※タイマー1と同様に④または⑤ボタンでセットします。

※タイマー2を使用しないときは「00'00」とセットしてください。



6. 計測回数をセットする

◎ ボタンを押します

⇒「回数」が点滅します。

※同様に④または⑤ボタンでセットします。



7. セットを終わる

◎ ボタンを押します

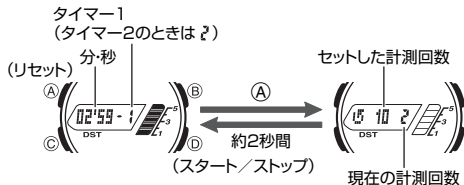
⇒点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方（減算計測のしかた）

タイマーモードのとき、

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。1秒単位で計測を行います。



設定した計測回数が終わるとタイムアップし5秒間報音します。

- 計測中に ④ ボタンを押すと、セットした計測回数を表示します。約2秒後に自動的に計測中の表示に戻ります。
- タイマー1とタイマー2は交互に計測されます。切り替わるときに短い電子音が鳴ります。
- タイマー1・2のうち「00'00」が設定されている方は計測されません。両方とも「00'00」が設定されているとタイマー計測が始まりません。
- 計測停止中に ④ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
- ④ ボタンで停止した後、もう一度 ④ ボタンを押すと表示タイムから計測を続けます。
- 計測中に別のモードに変えても計測は継続しています、また電子音も鳴ります。

■ 鳴っている電子音を止めるには
いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ストップウォッチの使い方

8 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがって
◎ ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 59 分 59 秒 99 (60 分計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップ
します。

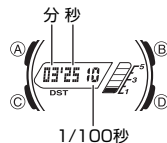
(スプリット/リセット)



(スタート/ストップ)

● 表示について

● 計測中の表示
「分・秒・1/100 秒」を表示します。



●通常計測



計測終了後 (A) ボタンを押すと、計測値が0に戻ります (リセット)。

〈積算計測〉

ストップ後リセットせずに (D) ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

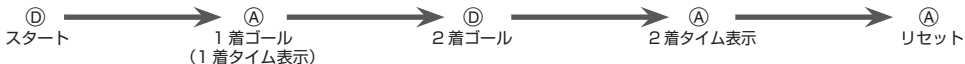
●スプリットタイム (途中経過時間) の計測



計測中に (A) ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります。

※ スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

●1・2 着同時計測



スプリットタイム表示中に (D) ボタンを押すと、スプリットタイムを表示したまま計測が停止します。

このとき (A) ボタンを押すと、スプリット表示が解除され、停止した時間を表示します。

ホームタイムデータ(時刻・日付)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域(都市)や時刻・日付等を合わせることです。

※ ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行います。

デジタルのホームタイムデータを修正すると、アナログの時刻も連動して、自動的に修正されます。もし、デジタルのホームタイムデータを修正しても、アナログの時刻が合っていない場合、針の基準位置を確認し、必要に応じて基準位置を合わせてください(34 ページ参照)。

■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約2秒間(確認音になるまで)押し続け、“ADJ”と表示されたらボタンを離します



⇒ 都市コードが点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. ホーム都市を選ぶ

④ または ② ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに都市コードが進み、② ボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

* 20 ページ「都市コード一覧」参照。

※ ④・② ボタンとも、押し続けると早送りします。



● OFF

サマータイムは OFF になります（通常時間）。

● ON

サマータイムになり、スタンダードタイムより 1 時間進みます。

※ セット完了後、DST マークが点灯します。

3. 「サマータイム」を設定する

③ ボタンを押します

→ サマータイムの設定になります。



4. サマータイム設定を切り替える

④ ボタンを押します

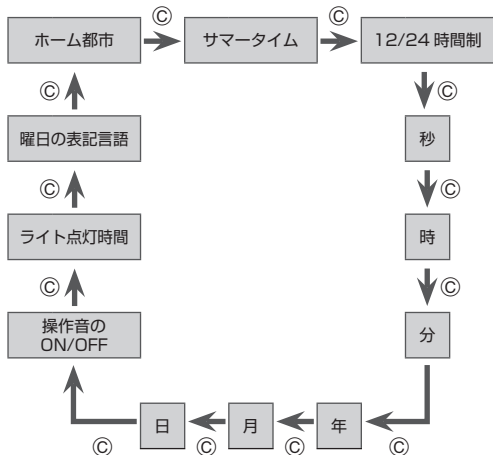
→ ④ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。



5. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。



※ どこが点滅している状態でも、◎ ボタンを押せばセットを完了できます。

6. 点滅箇所をセットする

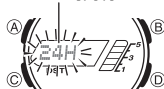
◎ または ◎ ボタンを押します

→◎ または ◎ ボタンで点滅箇所をセットします。

a. 「12/24 時間制表示」切替えのとき

◎ ボタンを押すごとに 12 時間制表示「12H」と 24 時間制表示「24H」が切り替わります。

12/24時間制

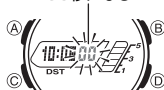


b. 「秒」セットのとき

◎ ボタンを押すと「00 秒」からスタートします。

※ 秒が 00～29 のときは切り捨てられ、30～59 のときは 1 分繰り上がって「00 秒」になります（時報は「時報サービス 117 番」が便利です）。

00秒になる



c. 「時」「分」「年」「月」「日」セツトのとき

① ボタンを押すごとに点滅箇所
の数字が進み、② ボタンを押す
ごとに戻ります。

※ ①・② ボタンとも、押し続け
ると早送りができます。



f. 「曜日の表記言語」設定のとき

① または ② ボタンを押すごと
に言語が切り替わります。



d. 「操作音の ON/OFF」設定のとき

① ボタンを押すごとに、モード切
替え時などに鳴る操作音の ON/
OFF が切り替わります。



e. 「ライト点灯時間」設定のとき

① ボタンを押すごとにライトの
点灯時間が切り替わります。



| | 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| ENG 英語 | SUN | MON | TUE | WED | THU | FRI | SAT |
| POR ポルトガル語 | DOM | SEG | TER | QUA | QUI | SEX | SAB |
| ESP スペイン語 | DOM | LUN | MAR | MIE | JUE | VIE | SAB |
| FRA フランス語 | DIM | LUN | MAR | MER | JEU | VEN | SAM |
| DEU ドイツ語 | SON | MON | DIE | MIT | DON | FRE | SAM |
| ITA イタリア語 | DOM | LUN | MAR | MER | GIO | VEN | SAB |

③ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、④ または
② ボタンを押してセツトする操作を繰り返して、時
刻・日付を合わせます。

- ※「時」のセットのとき午前／午後（P）または 24 時間制にご注意ください。
- ※「年」は 2000 年～ 2099 年の範囲内でセットできません。
- ※「年」「月」「日」は正しくセットしてください。うるう年、大の月および小の月を判別して、「曜日」を自動的に設定します（フルオートカレンダー）。

7. セットを終わる

A ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

<シンクロ機能>

デジタル部の時刻を修正すると、アナログ部（針）も連動して修正されます。

※ 針の修正は、デジタル部の修正時刻によって時間がかかることがあります。

針の基準位置合わせ

強い磁気や衝撃を受けると、針が基準位置からずれることがあります。以下の操作を行って針の基準位置を確認し、ずれている場合は、基準位置を合わせてください。

※ 時刻モードで、アナログ部の時刻とデジタル部の時刻が合っているときは、針の基準位置合わせを行う必要はありません。

1. 基準位置確認状態にする

時刻モードのとき、

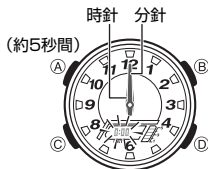
“H.SET” と表示されるまで、**Ⓐ** ボタンを約5秒間押し続け、“H.SET” と表示されたらボタンを離します

→ 時・分針が基準位置（12時位置）に移動し、“0:00” が点滅します。

※ **Ⓐ** ボタンを押し続けて約2秒後に“ADJ” と表示されますが、そのまま押し続けてください。“H.SET” と表示されたらボタンを離します。

※ 基準位置確認状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的に確認状態が解除されます。

なお、確認状態が解除されるまでに行った変更は保持されます。



★ 時・分針が基準位置（12時位置）にある場合は、手順**3.**に進みます。

— 時計と分針がずれている場合 —

2. 基準位置を合わせる

Ⓓ または **Ⓔ** ボタンを押します

→ **Ⓓ** ボタンを押すごとに進み、**Ⓔ** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **Ⓓ**・**Ⓔ** ボタンとも押し続けるとボタンを離しても針が連続して動き続ける早送り状態になります。早送り状態を止めるには、いずれかのボタンを押します。

※ **Ⓓ** ボタンによる早送りは分針が12回転、**Ⓔ** ボタンによる早送りは、分針が1回転すると自動的に止まります。

3. 基準位置合わせを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒時刻モードに戻り、現在の時刻を表示します。



基準位置合わせが終了したら、時刻モードで、針の時刻とデジタル部の時刻が合っているかご確認ください。もし違っている場合は、再度針の基準位置合わせを行ってください。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精 度: 平均月差± 30 秒以内

基 本 機 能: アナログ部=
時・分 (20 秒運針) 2 針
デジタル部=
時・分・秒、午前/午後 (P) /
24 時間制表示、月・日・曜日、
フルオートカレンダー (2000 ~
2099 年)

ワールドタイム機能: 世界 48 都市 (31 タイムゾーン) の
時刻を表示、サマータイム設定機能

アラーム機能: 時刻アラーム
アラーム数 = 5 本
セット単位 = 時・分
電子音 = 10 秒間
時報 毎正時に 1 秒間の電子音で報知

タイマー機能: タイマー数 = 2 (1 組)
セット単位 = 5 秒
計測範囲 = 99 分 55 秒
計測単位 = 1 秒
計測回数 = 1 ~ 10 回
タイムアップを 5 秒間の電子音で報知

ストップウォッチ機能: 計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 59 分 59 秒 99 (60 分計)
計測機能 = 通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測

そ の 他: 自動復帰機能、12/24 時間制表示切
替え、LED ライト、パワーセービン
グ機能、バッテリーインジケーター表
示、操作音 ON/OFF 設定、多言語曜
日表記

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップ CMOS-LSI

使用電池: 二次電池

持続時間: 約 10 ヶ月

(光に当てないで、1 日あたり電子音)
(10 秒間、ライト 1.5 秒間、表示点
灯 18 時間使用した場合)

memo

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

| | 表示 | 時計の表面または裏蓋に表記 | 日常生活用防水 「BAR」表記無し | 日常生活用強化防水 | | |
|-----|----|---------------------|----------------------|-----------|--------|--------|
| | | | | 5気圧防水 | 10気圧防水 | 20気圧防水 |
| | | | 5BAR | 10BAR | 20BAR | |
| 使用例 | | 洗顔、雨 | ○ | ○ | ○ | |
| | | 水仕事、水泳 | × | ○ | ○ | |
| | | ウインドサーフィン | × | × | ○ | |
| | | スキューバダイビング (素潜り) | × | × | ○ | |

- 専門的な潜水=スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なバックシン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態でも、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたまにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも濡れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。